

# 立憲民主

The Constitutional Democratic Party of Japan

**RIKKEN  
MINSHU**  
号外  
2022.1.8

立憲民主編集部  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町  
2-12-4 ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301  
Fax. 03-6811-2302

## 2022年 新春号



### ちがさきから“まっとうな政治”を!

## 立憲民主党 茅ヶ崎ブロック議員団 新春メッセージ



県会議員  
くさか景子

☎ 0467-58-0290

ホームページ  
はこちらから



市会議員  
小磯妙子

🏠 鶴が台14-5-202

✉ taekoko55jp@yahoo.co.jp



市会議員  
早川ひとみ

☎ 080-5536-8096

✉ hayakawa.hitomi1963@gmail.com



市会議員  
藤本けいすけ

☎ 0467-54-4555

ホームページ  
はこちらから



☆多様性を力に誰も排除しないまちづくりを!  
【あまりにも女性議員が少ない日本】政治分野の男女共同参画推進法が施行されて初となった昨年の衆院選で当選した女性は45人(46.5議席中)。全体の9.7%で、2017年の衆院選から2人減ってしまいました。世界的にも遅れている中で、日本の女性の政治参画はさらに後退。クオータ制の導入など制度の変革が必要で、【県のコロナ対策】①第6波に備え、第5波の2割増の入院者数に対応できる2500床を確保。②自宅療養者サポート「地域医療の神奈川モデル」を拡大。③「ワクチン検査パッケージ」健康上ラクチン接種できない人は検査無料。④ラクチン3回目接種で県独自の集団接種会場を設置。  
【お知らせ】①春の県政報告会を3月12日(土)午後2時よりラスカ茅ヶ崎6階ラスカホールにて。②コロナ禍の障がい者施設介護施設・グループホームでの実態調査まともを配布中!

☆地域で安心して暮らすために  
2020年12月定例市議会では、高齢者、子育て、生活困窮など多様かつ重層化する地域の課題解決のための「地域福祉プラン」について、①地域福祉活動の担い手(人材)の確保・育成、②新たな担い手として中学生のボランティア活動の可能性、③困ったときに相談しやすい「地域包括支援センター」をもっと身近に、④成年後見人制度の周知と市民成年後見人の育成 などを中心に一般質問を行いました。  
茅ヶ崎市では本年4月から、福祉の総合的な相談窓口を開設します。

☆求められる、住宅確保要配慮者への居住支援  
安心して地域で自立した生活をするためには、住まいは重要です。しかし、その住宅がなかなか見つからない住宅確保要配慮者(低額所得者、高齢者、障害者、ひとり親等)がいます。  
住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、本市でも、都市政策課の「住まいの相談窓口」にて住まいの相談を受けてきたが、本制度では生活支援までつなげることができません。そのため、令和4年3月に居住支援協議会の設立をめざしています。居住支援協議会を通して、住宅と福祉、そして行政と民間が一体となり、転居後の生活に対する支援まで繋げることを期待します。

☆誰ひとり取り残さない市政を!  
新年を迎え、茅ヶ崎市では来年度予算の編成作業が進行中です。新型コロナウイルス対応と市独自の財政健全化緊急対策が重なって、引き続き緊縮型の予算案となることが想定されますが、「生活・就労困窮者支援」「市内商業復興」「子育て・教育サービス維持」など、市民の「命」と「暮らし」が守られる中身となっているか、しっかりとチェックして参ります。「人に優先投資」。これからの市政のキーワードです!  
☆市議会議員志望者を募集中!  
これから議員を目指し、茅ヶ崎の未来のために共に行動する仲間を探しています。ご関心のある方は是非ご連絡ください!

☆県政・市政に関するご意見・ご相談を是非私たちにお寄せください!